

踏み跡 < My mountains >

奥武蔵

丸山から比企丘陵へ

No. 041

昭和 40 年 2 月 7 日

昭和 37 年以来何となく続いている「例会」という名の二月頃のハイキング会。

今回は、第一回目の「奥武蔵峠めぐり」の時に登った丸山から、北へ行き小川町(東上線)に下ろうという計画だったと記憶している。

のんびりした山歩きの企画だったので、歩行中の記録がわずかしかなかった。一日の行程の詳細がわからないがかすかに残っている記録と記憶を元に考え直してみるとこんなコースだったのではないかと思う。

吾野駅 9 時 40 分のバスで赤谷へ。赤谷から歩き始めたのが 10 時 45 分。

大野峠に登り丸山へ。丸山から見た武甲山の姿がきちんと記憶に残っている。

丸山(960.4m)から白石峠を経て堂平山(875.9m)へ。堂平山の山頂で撮った写真が残っている。

堂平山から笠山(837m)を經由して小川町へ下山した。

比企丘陵、のんびりした「丘陵」という名がぴったりとするところで、遠望を楽しむのよりも足元の枯れた叢に趣があるように感じた。

昼飯が旨かったことは記憶に残っているが、何を食べたは忘れている。

メンバーは、恩田、石川、高橋、村越。天気がよかった。

人間の記憶装置は非破壊読み出しができるが、それも一年ぐらい経つと自然破壊される。その点ではコンピュータに劣るようだ。それをカバーするためにも、やはり旅の記録はノートに細かく記しておくべきだと痛感した。



以上

丸山山頂で昼食 足元に雪 遠くに武甲山
(左から 恩田、村越、石川、小林)